

日本科学者会議

第18回総合学術研究集会(於宮城)

3rd Circular

基本テーマ 21世紀：人類史の転換期における科学の役割
—多様性と普遍性の矛盾を考える

開催日時：2010年11月19日(金)～21日(日)

開催場所：KKRホテル仙台(宮城県仙台市青葉区錦町)

(18総学ホームページ：<http://www.jsa.gr.jp/18sougaku/>)

仙台で開催される18総学に結集しましょう

「関西から見ると仙台は遠いというけれど、来てくれるだろうか」、「17総学の成功は地元東海地区の連携がものをいったという。東北地区は大丈夫だろうか」等々、はじめは心配でいっぱいでした。

そんな中で、実行委員会が動き出したのが、1年半前のこと。「東北地区シンポジウムを隔年でやってきているから、その経験を生かし全国の支持があればギリギリの準備はできるのではないか」、「この機会に、会員に直に話しかけて改めて積極的な参加を呼びかけよう」、「できれば、講演も含めて新しい方々にも働き掛けてはどうか」。

とはいうものの、不安の出発でした。現在も実行委員会は手探りを続けています。それにしても、前回名古屋での17総学の総括をふまえて、的確な指示を惜しまない愛知の今井会員(17総学事務局担当)や全国事務局次長・岩本さんにはどれだけ励まされていることか。

ともあれ、8月28日現在で、二つの特別セッション、27の分科会あわせて150もの講演のエントリーをいただいています。すでに、いち早く川崎健代表幹事の記念講演原稿が届いています。これから予稿集の作成作業になります。これが準備状況です。会員の皆様に念のため申し上げます。集会は、各分野の研究報告と合わせて、日本科学者会議のこれからについての協議をする機会です。宿泊予約も含めて早めにご用意いただきますように。秋の東北・仙台でお待ちしています。

仙台で開催される18総学に結集しましょう。

2010年9月1日 18総学実行委員会事務局長 伊藤 宏之

1. 開催行事一覧

行事名称	表 題	開催日程	室 名
市民と科学者の 夕べ (ゆうべ)	気候変化問題を考える市民と科学者の夕べ —COP16にのぞむ—	19 日夜	蔵 王
記念講演	川崎 健：科学が政治を動かす時代	20 日午前	蔵 王
特別セッション 1	魯迅と仙台	21 日午後	蔵王 1
特別セッション 2	21 世紀社会論	21 日午後	蔵王 2
分 科 会			
A 人類史的転換期における科学の役割			
A-1	平和問題—核兵器廃絶・基地撤去・安保破棄をめざして—	20 日午後	蔵王 1
A-2	「共生」理念と中国	20 日午後	蔵王 2
A-3	帝国主義政策と医学・医療	21 日午前	梅
A-4	臓器移植と身体観	21 日午後	梅
B 転換期の科学・技術政策			
B-1	科学・技術政策	20 日午後	にしき
B-2	エネルギー・原子力問題	21 日全日	青 葉
B-3	予防原則・リスク論を考える	21 日午前	朝日 1
B-4	科学・技術の現状批判 Part 3 —「労働の多様性」は国民生活をどのように破壊したか—	21 日午前	朝日 2
B-5	科学・技術サロン —日本の科学・技術の現状とロマンを語る Part 3—	21 日午後	朝日 2
B-6	医薬品の安全性確保と科学・技術	21 日午前	にしき
C 新しい学問の展開と方法			
C-1	ネオリベラリズムとグローバル化についての学際的検討	20 日午後	けやき
C-2	複雑系科学と現代唯物論	21 日全日	磐梯1
C-3	言語学は科学か？ Is Linguistics a Science?	21 日午後	にしき
D 多様な学術・大学問題とその根源			
D-1	大学・試験研究機関の法人化 —そのもたらしたものと今後に向けて—	20 日午後	ひのき
D-2	研究不正問題と大学の対応	21 日午前	蔵王 1
D-3	大学自治の現在を考える—『東北大学百年史』を素材として	21 日午前	蔵王 2
D-4	新自由主義と教育の相克：子ども、親、教師、学校の今を考える	20 日午後	梅
D-5	今、院生が求めているもの～院生のリアルからの提言～ part 2	21 日午前	けやき

E 多様な地域再生への道			
E-1	地域医療、高齢者介護、保育、障害者福祉など社会保障を考える	20 日午後	磐梯 1
E-2	地方都市の再生をめざす担い手づくり	20 日午後	磐梯 2
E-3	限界状況の地域社会と国の諸政策—地域の再生、われわれの課題	21 日全日	磐梯 2
E-4	ダム等の河川における大型公共事業の現状と環境保全	20 日午後	朝日 1
E-5	食と農の政策科学—農政転換の批判的検討	21 日午前	吾 妻
E-6	限界集落問題から見た農業の課題と展望	20 日午後	吾 妻
F 科学者運動の到達点と課題			
F-1	男女共同参画はどこまで進んだのか	20 日午後	青 葉
F-2	研究者の権利・地位、倫理の確立に向けて	21 日午後	朝日 1
F-3	JSA の運動をいかに立て直すか	20 日午後	朝日 2

2. 開催日程

日	時間帯	内容
11 月 19 日(金)	18:00～ 18:30～20:30	受付開始 公開講演会：市民と科学者の夕べ 「気候変化問題を考える市民と 科学者の夕べ—COP16 にのぞむ—」 (2 階蔵王の間、参加無料)
11 月 20 日(土)	9:00～ 9:30～12:00 13:00～18:00 9:00～(集会終了まで) 17:00～18:30 18:30～20:30	受付開始 開会全体集会 (2 階 蔵王) 開会の挨拶 (阿部実行委員長) 基調報告 (伊藤事務局長) 記念講演 (川崎 健氏) 「科学が政治を動かす時代」 分科会 ポスター展示 (2 階 ロビー) ポスターディスカッション 懇親会 (2 階 蔵王)
11 月 21 日(日)	9:00～13:00 14:00～18:00 14:00～18:00 14:00～18:00	分科会 分科会 特別セッション 1 「魯迅と仙台」 特別セッション 2 「21 世紀社会論」

3. 参加費

一般会員 4,000 円、非会員 4,500 円、非会員 1 日参加 2,500 円
学部学生・院生 1,000 円

※いずれも予稿集含む、事前申込は 500 円割引

懇親会：一般会員・非会員 3,000 円、学部学生・院生 1,000 円

19 日夜の「市民と科学者の夕べ」は一般市民に無料公開されます。

参加申込

当日受付の混雑を避けるため、できるだけ事前申込みをお願いします。

参加費割引あり(上記)

振替用紙には、氏名、連絡先、「会員、非会員」、「一般、学部学生、院生」、「懇親会参加(有、無)」を明記し、合計金額を振り込んでください。

3rd サーキュラーに添付の 18 総学事前登録専用の振替用紙を使ってください。

ゆうちょ銀行 記号・番号：00180・8・86906

加入者名：日本科学者会議

振込の控えは会場までお持ちください。

受付

- ① 受付は、会場（KKR 仙台）入口で行います。
- ② 当日参加の方は参加申込書にご記入のうえ参加費等をお支払い下さい。
- ③ 予稿集は会場受付で取り扱います。
- ④ 事前申込みされた方は、お名前を告げて、**振込の控えを提示頂き、参加証と予稿集を受取ってください。**

昼食：各自ご持参頂くか、会場の近くの飲食店でお願いします。

宿泊、乗車券、航空券など：各自で手配して下さい。

書籍販売コーナー：会場に書籍販売コーナーを設けます。会員や支部の出版物の委託販売を受け付けます。各自、みやぎ書房(miyagishobou@bird.ocn.ne.jp)に直接連絡ください。

懇親会：11 月 20 日 18:30 より蔵王で行います。

4. 分科会講演者のみなさんへ

発表時の機器について、各コーディネーターには分科会ごとのとりまとめをすでにお願ひしてありますが、念のためお知らせします。

- ① パワーポイント(ppt ファイル)用のデータプロジェクターを準備します。OHP など他の機材の必要な方は事前に各分科会のコーディネーターにお申し出下さい。
- ② パーソナルコンピュータは、使用するソフトウェアとの関係がありますので、分科会ごとに、または各自で準備されるようお願いいたします。

分科会で当日配布する資料は、必要部数を必ず各自で用意してご持参ください。

5. 開会集会のプログラム

市民と科学者の夕べ

気候変化問題を考える市民と科学者の夕べ COP16 にのぞむ

19日(金) 18:30~20:30 (2階 蔵王)

コーディネーター: 田中雄三(京都支部)、岩本智之(大阪支部)

話題提供

安田延壽氏(東北大学名誉教授): わが地球・水惑星の過去、現在そして未来

明日香寿川氏(東北大学): 気候変動問題、最新の動向

早川光俊氏(CASA): 日本に於ける温室効果ガス25%削減の可能性—CASAの提案—

江刺家由美子氏(MELON): 市民が進める地球温暖化対策

開会全体集会

20日(土) 9:30~12:00 (2階 蔵王)

阿部兼也実行委員長: 開会の挨拶

伊藤宏之事務局長: 基調報告「21世紀: 人類史の転換期における科学の役割
—多様性と普遍性の矛盾を考える—」

日本科学者会議代表幹事、東北大学名誉教授 川崎 健氏

: 記念講演「科学が政治を動かす時代」

特別セッション

特別セッション1 「魯迅と仙台」

21日(日) 14:00~18:00 (2階 蔵王1)

コーディネーター: 阿部兼也、大村 泉(宮城支部)

1 14:00 阿部兼也: 魯迅と仙台—作品「藤野先生」にも触れて—

2 15:00 渡辺 襄: 作品『藤野先生』に加えた魯迅の推敲について
休憩(10分程度)

3 16:00 坂井建雄: 魯迅が仙台医学専門学校を退学した事情について
—授業ノートからの再検討—

4 17:00 刈田啓史郎: 魯迅が仙台で学んだ医学はどのように生かされているか

特別セッション2 「21世紀社会論」

21日(日) 14:00~18:00 (2階 蔵王2)

コーディネーター: 松川康夫(21世紀社会論研究委員会)

1 14:00 開会と試論の提示(松川)

2 14:30 討論(司会: 北村)

関連委員会コメント、フロア発言、文書発言、当委員会委員コメント
途中休憩(10分)

5 18:00 閉会(司会者)

分科会プログラム

[A 人類史的転換期における科学の役割]

[A-1] 平和問題 核兵器廃絶・基地撤去・安保破棄をめざして

20日(土) 13:00~18:00 (2階 蔵王1)

コーディネーター: 沢田昭二、亀山統一(平和問題研究委員会)

13:00-14:20 「核兵器廃絶の情勢と展望」

1 沢田昭二: NPT2010年再検討会議と今後の課題

<ディスカッション(40分)>

14:20-16:15 「日米安保体制を打ち破るための焦点」

2 14:20 金子 勝: 「砂川事件最高裁大法廷判決」と日米安保条約

3 14:45 沢田昭二: 普天間基地撤去問題と米軍基地国家からの脱却

4 15:10 小森田精子: ガンディーの非暴力主義—マーティン・ルーサー・キングの場合—

5 15:35 中里見 博: 平和的生存権の可能性

<総合討論(15分)>

休憩(5分)

16:20-18:00 「日米安保体制をめぐる各地の状況と運動」

6 16:20 今野 宏: 神奈川の基地から見る日米安保の実態

7 16:45 杉浦公昭: 米軍再編強化のための普天間基地移設計画と闘って

8 17:10 亀山統一: 「日米同盟の変革と深化」の現段階

<総合討論(25分)>

[A-2] 「共生」理念と中国

20日(土) 13:00~18:00 (2階 蔵王2)

コーディネーター: 田中雄三、大西 広(京都支部)

1 13:00 姚 国利: 中国経済の問題点—発展モデルの転換は可能か

2 14:00 大西 広: 「中国問題」のひとつとしての少数民族問題
—2009年ウルムチ暴動とその後のチベット自治区—

3 15:00 白土充良: 日中友好の原点

16:00~18:00 全体討論

[A-3] 帝国主義政策と医学・医療

21日(日) 9:00~13:00 (1階 梅)

コーディネーター: 村口 至、刈田啓史郎(宮城支部)

1 蒔 昭三: 明治、大正、昭和期—日本のアジア侵略政策と『日本医学会』 (60分)

2 末永恵子: 朝鮮植民地化過程における日本の医療進出 (23分)

3 一戸富士雄: 731部隊に通底する戦時下医学者達の戦争荷担意識 (23分)

4 刈田啓史郎: 戦時の非人道的医学研究の特徴 (20分)

5 高橋浩史: 一つの事実(昭和二十年六月三十日、秋田、花岡鉦山) (23分)

6 岡山 博: 日本の結核対策; 歴史的成果と近年の後退 (23分)

7 品川信良: 帝国主義と日本の医療・医学—戦時中の見聞をもとに— (23分)

[A-4] 臓器移植と身体観

21日(日) 14:00~17:25 (1階 梅)

コーディネーター: 黒須三恵(生命倫理研究委員会)

14:00 はじめに

- 1 14:10 宗川吉汪: 臓器移植の進化論的考察
- 2 14:40 尾崎恭一: 臓器移植でのドナー家族とレシピエントの身体観
- 3 15:10 末永恵子: 「人体の不思議展」反対運動の現状
15:40~15:55 休憩
- 4 15:55 黒須三恵: 臓器移植法の問題点と身体観への影響
16:25~17:25 総合討論

[B 転換期の科学・技術政策]

[B-1] 科学・技術政策

20日(土) 13:00~18:00 (3階 にしき)

コーディネーター: 稲生 勝(岐阜支部)

- 1 14:00 齋藤安史: 第4期科学技術基本計画の総合的分析
14:50~15:00 休憩
- 2 15:00 兵藤友博: 「第4期科学技術基本計画」と次世代人材育成政策(予定)
15:50~16:00 休憩
- 3 16:00 稲生 勝: 「人類のための科学と技術」からみた「科学技術政策」
—事例も含めて(未定)—

[B-2] エネルギー・原子力問題

21日(日) 9:00~13:10、14:10~17:20 (2階 青葉)

コーディネーター: 野口邦和(東京支部)、本島 勲(千葉支部)

- 9:00 開会, 分科会趣旨説明など 野口邦和
- 1 9:05 深尾正之: CO₂削減をどう実現するか
 - 2 9:35 草野清信: 持続可能な社会の建設(その1)
 - 3 10:05 草野清信: 持続可能な社会の建設(その2) —未来社会 水素社会への道—
 - 4 10:35 本島 勲: スマートグリッドと電気事業
11:05 総合討論1(エネルギー・電力供給システム問題)
11:30~11:40 休憩
 - 5 11:40 村上 東: 地方の人権と原発—秋田から考える原発, 人権, 情報—
 - 6 12:10 高野 博: 原発の開発と住民自治—プルサーマルの住民アンケートを行って—
 - 7 12:40 永田文夫: 日本原燃六ヶ所再処理工場周辺の放射性物質による汚染
13:10~14:10 昼食休憩
 - 8 14:10 児玉一八: 北陸電力・志賀原子力発電所の事故分析
 - 9 14:40 野口邦和: 日本科学者会議エネルギー・原子力問題研究委員会がプルサーマル
に反対するのはなぜか
 - 10 15:10 野口邦和: 原子力発電と核拡散を考える
15:40~15:50 休憩
 - 11 15:50 宮永崇史: 原子力神話から自然エネルギーへ—青森県と再処理工場
 - 12 16:20 青柳長紀: 原子力発電は地球温暖化の救世主(切り札)となるか
16:50~17:20 総合討論2(原発問題)

[B-3] 予防原則・リスク論を考える

21日(日) 9:00~13:00 (3階 朝日1)

コーディネーター: 西川榮一(兵庫支部)

司会・進行担当; 森家章雄、小野塚春吉

1 9:00 山田耕作: 中西準子氏のリスク論について

2 9:20 西川榮一: 技術の利用開発に係る安全問題と環境問題

3 9:40 近藤 真: 予防原則と環境権の再定義

4 10:00 神戸秀彦: 予防原則の成立と展開

10:20~10:30 休憩

司会・進行担当; 森家章雄、西川榮一

5 10:30 後藤美智子: 大型風力発電事業推進の陰で

—「健康被害者と自然環境の切り捨て」の実態と構造—

6 10:50 本間圭吾: 予防原則の適用に関する考察—東京築地市場の移転計画を事例に—

7 11:10 坂巻幸雄、佐藤克春: リスク・マネジメント手法で安全は担保できるのか?

—東京都豊洲汚染地の事例に則して—

8 11:30 田口直樹: アスベスト問題からみた予防原則

9 11:50 小野塚春吉: 食品安全政策をめぐる予防原則・リスク論の現状

12:10~12:20 休憩

12:20~13:00 総合討論

<司会進行> 森家章雄、小野塚春吉、西川榮一 討論; 講演者と分科会参加者

[B-4] 科学・技術の現状批判 Part 3

「労働の多様性」は国民生活をどのように破壊したか

21日(日) 9:00~11:00 (3階 朝日2)

コーディネーター: 長田好弘(東京支部)、久志本俊弘(大阪支部)、酒井士朗(東京支部)

1 9:00 長田好弘: 科学・技術の現状批判の今日的意義

—科学技術庁の設置と文科省への統合は何をもたらしたか—

2 9:30 久志本俊弘: 企業の中の研究開発の最近の現場の特徴・問題点と解決の方向性

—とくに若手の技術者の育成とその権利意識強化のために—

3 10:00 矢作英夫、酒井士朗: 成果主義、裁量労働制の職場の実態とたたかい

4 10:30 酒井士朗: トヨタ車リコール問題は、私たちに何を警告しているか

(注) B-4分科会とB-5分科会は10分の休憩をはさんで同じ会場で続けて行います。

[B-5] 科学・技術サロン 日本の科学・技術の現状とロマンを語る Part 3

21日(日) 11:10~17:40 (3階 朝日2)

コーディネーター: 長田好弘、榊原道夫、松永光司(東京支部)

1 11:10 長田好弘: 科学・技術サロン: オープニング・トーク~「事業仕分け」考

2 11:40 増澤誠一: 知的財産権・知的財産権法の現在、将来

—「知的財産推進計画」から読む

3 12:10 榊原道夫: 科学・技術の解放とは

昼食休憩: 12:40-14:00

4 14:00 石綿 勇: スマートグリッド(次世代送電網)について考える

- 5 14:30 栗野 宏：自動車システムが実現する「空間移動の自由」と「自動車システムの本質的欠陥」との矛盾について
- 6 15:00 小金澤鋼一：技術の複雑化に伴う危険性
15:30-15:40 休憩
- 7 15:40 中野貞彦、伊藤 隆：住民殺害の無人攻撃機の実態
- 8 16:10 今清水雄二：戦争と科学・技術と科学・技術者
- 9 16:40 上野 哲：「科学技術立国」論とナショナリズム
- 10 17:10 松永光司、長田好弘：民主党政権の科学技術政策を問う

[B-6] 医薬品の安全性確保と科学・技術

21日(日) 9:00~13:00 (3階 にしき)

コーディネーター：片平洸彦(保健医療福祉問題研究委員会)

9:00-9:10 開会挨拶 未定

- 1 9:10 片平洸彦：基調報告「薬害根絶へ向けて 日本の科学者の歩みと今後」
- 2 9:40 寺岡章雄：特別講演「医薬品の安全性確保と薬事行政」
10:40-10:50 休憩
- 3 10:50 講演者未定：教育講演「薬害被害者支援における科学者・技術者の役割」
11:30 関連演題 数題(宮城の薬剤師の取り組み、等)
12:50-13:00 閉会挨拶 未定

[C 新しい学問の展開と方法]

[C-1] ネオリベリズムとグローバル化についての学際的検討

20日(土) 13:00~18:00 (3階 けやき)

コーディネーター：米田貢、木下ちがや(東京支部)

13:00-13:15 「領域を越えた討議に向けて一問題意識」木下ちがや報告

13:15-15:30 <ディスカッション>(司会：木下ちがや)

- 1 佐々木 啓、岡田泰平：歴史学の現在と課題
- 2 柴田 勉、新井田智幸：経済学の現在と課題
- 3 木下ちがや、岡田健一郎：法と政治学の課題
15:30~16:00 休憩
16:00~17:30 総合討論

[C-2] 複雑系科学と現代唯物論

21日(日) 9:00~13:05、14:00~18:00 (2階 磐梯1)

コーディネーター：嶋田一郎(宮城支部)、栗野 宏(山形支部)

○午前の部 「複雑系科学の新展開」

- 9:00 開会挨拶；嶋田一郎、栗野 宏
- 1 9:05 松下 貢：現代科学の流れの中の複雑系科学
- 2 9:35 菅野禮司：自然界の対称性の破れと多様性：複雑系科学の哲学
- 3 10:05 栗野 宏：自然弁証法からみたイリヤ・プリゴジンの自然観
- 4 10:35 寺尾 徹：大気科学・気候科学と複雑系科学
- 5 11:05 嶋田一郎：動物行動学から複雑系科学へ

- 6 11:35 白井浩子：生物に関する新しい質の成立経緯
 7 12:05 栗野 宏：複雑系としての社会関係資本
 8 12:35 長野八久：複雑系科学としての平和学
 13:05~14:00 昼食休憩
 ○午後の部 「発展・進化の科学」
 9 14:00 菅野禮司：可逆性と不可逆性
 10 14:30 嶋田一郎：複雑適応系科学から変革の科学の可能性
 11 15:00 白井浩子：進化の内容：蓄積と消失
 15:30~15:45 休憩
 15:45~17:55 総合討論
 17:55~18:00 閉会挨拶；嶋田一郎、栗野 宏

[C-3] 言語学は科学か？ Is Linguistics a Science? (使用言語：英語)

21日(日) 14:00~16:30 (3階 にしき)

コーディネーター：三宅良美(秋田支部)

- 1 14:00 Emma Tamaianu-Morita: “The Concord of This Discord”
 —Linguistics as a Science of Culture—
 2 14:30 Peter Hook : A Bridge Too Far? The Two Cultures Fifty Years Later
 遠すぎる向こう側：二つの文化の50年後
 3 15:00 勝守 真: Heisenberg on Science, Language, and the Structure of Reality
 ハイゼンベルク—科学、言語、現実の構造について—
 15:30~16:30 総合討論 Panel Discussion

[D 多様な学術・大学問題とその根源]

[D-1] 大学・試験研究機関の法人化 そのもたらしたものと今後に向けて

20日(土) 13:00~17:20 (3階 ひのき)

コーディネーター：五十子満大(東京支部)、井村 治(栃木支部)

- 1 13:00 安達雅樹：揺り動かされる国立独法試験研究機関
 —事業仕分けから法人再編へ—
 2 14:00 細井克彦：法人化がもたらした矛盾と弊害
 15:00~15:20 休憩
 3 15:20 丹羽 徹：私立大学の現状と課題—大学教育を受ける権利の実現のために—
 16:20~17:20 総合討論

[D-2] 研究不正問題と大学の対応

21日(日) 9:00~13:00 (2階 蔵王1)

コーディネーター：大村 泉、高橋禮二郎(宮城支部)

- 1 9:00 高橋禮二郎：井上明久東北大学総長の研究不正疑惑と東北大学の対応(1)
 2 9:40 大村 泉：井上明久東北大学総長の研究不正疑惑と東北大学の対応(2)
 3 10:30 山口俊郎：大学は特許出願における研究倫理問題を審議しないでもいいのか
 11:10~11:30 休憩 およびディスカッションの議題整理
 11:30~13:00 ディスカッション

[D-3] 大学自治の現在を考える 『東北大学百年史』を素材として

21日(日) 9:00~13:00 (2階 蔵王2)

コーディネーター: 入間田宣夫(宮城支部)

9:00 伊藤昌太: 問題提起

9:15~11:45 報告

- 1 入間田宣夫: 近代における大学制度と「大学自治」の創出
- 2 柳原敏昭: 1938年の「大学自治問題」(荒木文相による総長官選制導入策動)に対する各大学および東北大学の対処

(休憩)

- 3 井原 聡: 戦時体制と大学

- 4 大藤 修: 1950年イールズ事件をめぐって

(休憩)

12:00~13:00 討論(司会: 伊藤昌太)

[D-4] 新自由主義と教育の相克: 子ども、親、教師、学校の今を考える

20日(土) 13:00~17:25 (1階 梅)

コーディネーター: 佐藤修司(秋田支部)

13:00~13:05 趣旨説明

- 1 13:05 細川 孝: 中等教育・高等教育における「無償教育の漸進的導入」に向けた諸課題

- 2 13:35 川口洋誉・古里貴士・中嶋哲彦: 「教育の機会均等の矛盾」再考—キャリア教育を素材として—

14:35~14:45 休憩

14:45~15:15 1, 2に関する総合討論

- 3 15:15 庄司善哉・長野宏子: 学校給食の変遷と学校教諭の給食指導

16:15~16:25 休憩

- 4 16:25 佐藤修司: 少子高齢化に伴う教育市場の縮小—秋田の状況を中心に—
16:55~17:25 3, 4に関する総合討論

[D-5] 今、院生が求めているもの~院生のリアルからの提言~ part 2

21日(日) 9:00~12:00 (3階 けやき)

コーディネーター: 色摩泰匡、峰尾菜生子(東京支部)

- 1 文系非常勤講師の実態(報告者調整中)
- 2 文系院生の実態(報告者調整中)
- 3 理系ポスドクの実態(報告者調整中)
- 4 理系院生の実態(報告者調整中)

[E 多様な地域再生への道]

[E-1] 地域医療、高齢者介護、保育、障害者福祉など社会保障を考える

20日(土) 13:30~18:00 (2階 磐梯1)

コーディネーター: 刈田啓史郎、宮田猪一郎、佐俣主紀(宮城支部)

13:30 司会(コーディネーター・刈田啓史郎)によるこの分科会の趣旨説明

- 1 13:40 高橋悦子: 新保育制度では安心した子育てはできない

- 2 14:15 井上博夫：岩手県立病院無床化問題と地域医療政策
- 3 14:50 工藤俊輔：障害者自立支援法をめぐる諸問題と今後の課題
15:25～15:30 休憩
- 4 15:30 佐俣主紀：検証一介護保険制度の10年
- 5 16:05 田代真樹：福祉労働に関する一考察
～福祉労働者を取り巻く法と組織に関する課題と展望～
- 6 16:40 宮田猪一郎：高齢者が創造する21世紀
17:15～18:00 総合討論

[E-2] 地方都市の再生をめざす担い手づくり

20日(土) 13:00～18:00 (2階 磐梯2)

コーディネーター：栗野 宏 (山形支部)

- 1 栗野 宏：地方都市における社会関係資本再構築としての担い手づくり
- 2 鈴木 浩：地方都市再生とコンパクトシティ論
- 3 岩淵善弘：自治体の過疎地域自立促進特別方針(H22～H27)からみた「担い手づくり」の課題
- 4 山川充夫：地方都市における市民協働のまちづくり—福島県伊達市細谷地区の活動
- 5 岩鼻通明：地方発信映画にみる地方都市再生の試みとその担い手
- 6 内藤雅子：まちづくりは人をどう変え、人づくりはまちをどう変えるか
- 7 栗野 宏：放棄された「バイコロジー運動」—担い手づくりの視点からその理念と現実をみる

[E-3] 限界状況の地域社会と国の諸政策 地域の再生、われわれの課題

21日(日) 9:00～12:40、13:20～16:30 (2階 磐梯2)

コーディネーター：飯田克平 (日本海委員会)

- 1 9:00 岡田知弘：民主党政権下での「地域主権改革」の内実と地域再生への展望
- 2 10:00 行方久生：地域主権と地方財政
10:45～10:55 討論
10:55～11:05 休憩
- 3 11:05 岩田 裕：環境保全型まちづくりの経緯と課題
—四十万源流・高知県梶原(ユスハラ)町の挑戦—
- 4 11:50 亀田悦正：限界状況の農村地域で「絆」を取戻す試み
12:30～12:40 討論
12:40～13:20 昼休み
- 5 13:20 野口俊邦：森林・林業の現状と再建への課題
- 6 14:05 神田健策：新自由主義下の北東北地域～第一次産業と地域経済～
14:50～15:00 討論
- 7 15:00 村口 至：地域医療の公共性を守るために
—公立病院の解体、崩壊現象をどう見るか—
15:50～16:00 討論
16:00～16:30 総合討論「日本科学者会議と地域研究」

[E-4] ダム等の河川における大型公共事業の現状と環境保全

20日(土) 13:00～18:00 (3階 朝日1)

コーディネーター：二平 章 (茨城支部)

13:00-13:10 趣旨説明 (二平 章)

- 1 13:10 宇民 正：我が国における治水のあり方をめぐって

- 2 13:35 上野鉄男・中 登史紀：犀川の治水と辰巳ダム計画に関する問題
- 3 14:00 奥西一夫：袋小路に突入したダム政策 ダム地すべりと環境の問題から考える
- 4 14:25 佐々木克之：北海道のダム事業の検証とダムの遡河性魚類への影響
14:50-15:00 休憩
- 5 15:00 浜田篤信：利根川のシジミ漁業興亡と大型公共事業
- 6 15:25 鴨志田清美・二平 章：霞ヶ浦導水事業と那珂川アユ・シジミ裁判
- 7 15:50 高村義親：霞ヶ浦導水事業と霞ヶ浦の水質
一富栄養化の促進による水質悪化の可能性一
- 8 16:15 寺尾 徹：四国の自然と人々の暮らしをめぐって、河川の役割をたどる
- 9 16:40 吉川一男：産業廃棄物最終処分場設置反対運動の経過と勝利内容並びに
たたかひの教訓
17:05-18:00 総合討論

[E-5] 食と農の政策科学 農政転換の批判的検討

- 21日(日) 9:00~13:00 (2階 吾妻)
- コーディネーター：冬木勝仁(食糧問題研究委員会)
- 9:00~9:10 コーディネーターによる趣旨説明
- 1 9:10 横山英信：民主党農政は日本農業を再生させるか
一農業者戸別所得補償制度の政治経済学的検討一
- 2 9:50 伊藤豊彰：水稻の有機栽培やふゆみずたんぼは食と環境の時代の農法となりうるか?
10:30~10:40 休憩
- 3 10:40 渡部岳陽：菜の花から始まる循環型社会構築をめざして
一秋田県内の取組みを事例に一
- 4 11:20 泉谷眞実：食品廃棄物問題の要因と政策対応を考える
- 5 12:00 冬木勝仁：地域の食と農を再生する実践的取り組みと政策課題
12:20~13:00 総合討論

[E-6] 限界集落問題から見た農業の課題と展望

- 20日(土) 13:00~15:50 (2階 吾妻)
- コーディネーター：近藤 正, 宮入 隆(秋田支部)
- 1 13:00 本間 慎：限界集落問題と生物多様性
- 2 14:00 林 節男：干柿加工からみた日本と東アジアの農山村部の環境
- 3 14:40 長濱健一郎：限界集落の実態からみた農業と農村の課題と展望
15:20~15:50 総合討論

[F 科学者運動の到達点と課題]

[F-1] 男女共同参画はどこまで進んだのか

- 20日(土) 13:00~18:00 (2階 青葉)
- コーディネーター：金子幸代(女性研究者技術者委員会)
- 13:00 開会挨拶 金子幸代(委員長)
- 講演 (司会：沢山美果子)
- 1 13:15 朴木佳緒留：男女共同参画はどこまで進んだか(仮題)

- 14 : 20～14 : 30 休憩
- 2 14 : 30 池上幸江 : 女性研究者としての歩みと今後への問題提起 (仮題)
- 3 15 : 20 高木 直 : 地域での男女共同参画の取り組み状況
- 4 15 : 55 中山庸子 : ジェンダー学の実施状況に関して
- 5 16 : 30 三宅良美 : 外国語教育と女性
- 17 : 05～17 : 15 休憩
- 17 : 15～18 : 00 質疑応答・全体討論・まとめ
- 18 : 00 閉会挨拶 (前委員長 石渡真理子)

[F-2] 研究者の権利・地位、倫理の確立に向けて

- 21日(日) 14 : 00～17 : 30 (3階 朝日1)
- コーディネーター : 丹生淳郷 (科学者の権利問題委員会)
- 14 : 00～14 : 05 丹生淳郷 趣旨説明
- 1 14 : 05 湯浅精二 : 「研究者の倫理と権利・地位文書」の作成と科学者運動
- 2 14 : 35 竹森 信 : 研究における「評価」をどう考えるか
- 3 15 : 00 菊地重秋 : 我が国における研究不正 (ミスコンダクト) 等の概観
— 新聞報道記事から (その2) —
- 15 : 25～15 : 35 休憩
- 4 15 : 35 今野 宏 : 歴史に見る科学者・技術者の倫理的諸問題
- 5 16 : 00 宗倉 哲 : 企業内の科学者と学問の自由
- 6 16 : 25 宗川吉汪 : 京都支部苗氏過労死裁判とポストク問題
- 16 : 50～17 : 00 休憩
- 17 : 00～17 : 30 総合討論 (進行 丹生/高木)

[F-3] JSA の運動をいかに立て直すか

- 20日(土) 13 : 00～18 : 00 (3階 朝日2)
- コーディネーター : 長田好弘、佐久間英俊 (東京支部)
- 13 : 00-13 : 05 テーマ解題 (佐久間英俊)
- 1 13 : 05 長田好弘 : JSAの組織拡大をはかるには何が必要か～支部活動の経験をふまえて
- 2 13 : 30 佐久間英俊 : 今日における科学運動の役割と発展可能性
- 3 13 : 55 仲村誠治、佐々木 啓 : 東京支部院生のこれまでの取り組みの到達点と課題
- 14 : 20-14 : 30 (休憩)
- 4 14 : 30 阪田晴三 : 継続は力、分会活動の紹介
- 5 14 : 55 高畑 滋 : 退職個人会員を組織して20年の活動報告
- 6 15 : 20 河上 茂 : 個人会員の重層的な構造を活かすために
- 7 15 : 45 俣野景彦 : 会員への情報宣伝、相互交流を重視した活動
— 『東京支部つうしん』の経験から—
- 16 : 10-16 : 20 (休憩)
- 8 16 : 20 増澤誠一 : 東京支部の運動の教訓から、考える
- 9 16 : 45 米田 貢 : 大学教員のJSA活動を考える
- 17 : 10-17 : 50 全体討論
- 17 : 50-18 : 00 まとめ (長田好弘)

ご案内

(1) 支部、地区、委員会、研究会の活動をポスターに！

会員の皆さん

2年に1回開かれる総合学術研究集会は日本科学者会議の研究活動の集約点です。

ここに全会の活動の経験、教訓をポスターにして持ち寄ってください。

新たに作成されるポスターや、すでに発行された支部ニュース、刊行物など何でも結構です。

ポスターに貼り合わせるなり、つり下げるなり、創意を發揮してご参加下さい。

ポスターのサイズは、A0用紙縦置き（横84.1cm×縦118.9cm）内のサイズに収まる様に準備ください。

会場は2階ロビーです。20日（土）17:00～18:30までをポスターディスカッションの時間としますので、掲示された発表者はポスターの前にお立ちください。

(2) 院生交流会のお知らせ

11月20日（土）懇親会終了後

院生のみなさん、親交を深めましょう！

日頃の研究生生活、将来の夢や不安について自由に話しましょう。

詳しくは、当日、会場でお知らせします。

(3) 女性交流会のお知らせ

11月20日（土）懇親会終了後

場所：F-1 分科会会場

全国から集まった女性の皆さんで、現状の課題や今後の展望など、大いに語り合いましょう。初めて参加された方、院生や若手の女性、大先輩等々（男性も）大歓迎です！参加費は千円程度（学生は無料）。

皆さん、お気軽にご参加下さい。

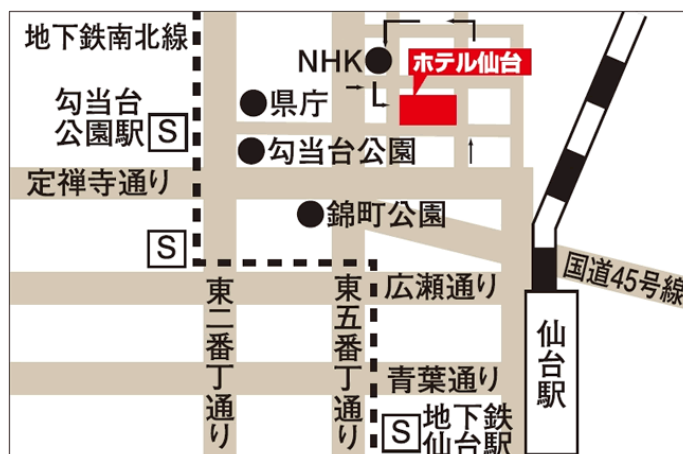
4. 会場案内

KKR ホテル仙台（国家公務員共済組合連合会仙台共済会館）

住所：仙台市青葉区錦町 1-8-17 TEL：022-225-5201 FAX：022-265-7701

JR 仙台駅より徒歩約 15 分

仙台空港より仙台空港アクセス線 25 分で JR 仙台駅です。



宿泊希望の方は直接、KKR 仙台にお電話ください。

（その際に「18 総学の参加者です」とお伝えください）

宿泊代は 1 泊あたり朝食込みで 5,000 円です。

11 月 20 日（土）は 18 総学参加者のみ宿泊可能です。どしどしご予約ください。

【日本科学者会議第 18 回総合学術研究集会実行委員会】

実行委員長 阿部兼也（東北大学名誉教授）

事務局長 伊藤宏之（福島支部事務局長）

事務局次長 岩本智之（全国事務局次長）、西崎 滋（岩手支部）、
左近拓男（秋田支部）、嶋田一郎（宮城支部）、高木 直（山形支部）、
伊藤昌太（福島支部）

実行委員 泉谷眞美（青森支部）、井上博夫（岩手支部）、山元正継（秋田支部）、
三宅良美（秋田支部）、小笠原卓（宮城支部）、石栗義雄（宮城支部）、
栗野 宏（山形支部）、斎藤 毅（福島支部）、佐久間英俊（東京支部）、
今井証三（愛知支部）

☆ 予稿集をご希望の方は実行委員会までお申し込みください。代金は送料込みで ¥1,160 です。送り先を明示し実行委員会に申し込んでください。

日本科学者会議第 18 回総合学術研究集会実行委員会

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9 階

電話 03-3812-1472、FAX 03-3813-2363、

E-mail：18sougaku@jsa.gr.jp（問合せ用アドレス）

E-mail：submit-18sougaku@jsa.gr.jp（申込・原稿送付専用アドレス）

ホームページ：http://www.jsa.gr.jp/18sougaku/